


基金だより

第4号（平成22年9月24日発行）



函館校校舎

hue  北海道教育大学
教育支援基金事業実施部

学 長 か ら

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

教育界では、教育目標として「生きる力」の育成が継承された新学習指導要領に沿った新しい教育が来年度から小学校、中学校、高等学校と順次実施されます。一方、学校現場では、いじめ、不登校、非行、学力の低下等様々な課題が山積みになっています。本学では、これらの教育の目標、課題の解決に適切に対応でき、教育のプロとしての自覚をもった教員の育成を目指しています。



また、現職教員の資質向上に向けては、本学では既存の大学院を充実させると共に、一昨年から現職教員大学院生を中心とする高度教職実践専攻（教職大学院）を開設し、学校でのスクールリーダの育成を目指しています。この3月にはじめての修了生を出し、多くの先生方が教職大学院で学んだ力を職場で発揮しています。

さらに、人間地域科学・芸術・スポーツに関する専門的知識・技能を持ち、幅広い教養を備え、地域に根ざした社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

この目的達成のためには、しっかりとした教育体制や教育環境の整備充実はもとより、学生自身の自発的で積極的な学習への取り組みを奨励・支援し、学生の意欲を喚起する環境作りが必要であると考え、本学では、2006年12月に北海道教育大学支援基金事業を設立しました。

本学教職員はもとより、企業、同窓会等にその趣旨をご理解いただき、温かい励ましと基金へのご協力をいただいています。また、札幌商工会議所には「どさんこ創生塾」を立ち上げていただき、その会費と事業の収益全額を教育大学支援基金に繰り入れていただいています。このように、多くの方々、企業等からご協力とご支援いただいていますことに心から感謝申し上げます。

本学は「人が人を育てる北海道教育大学」を合い言葉に、地域人材の養成に努めて参りますので、今後とも本学へのご支援と基金へのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成 21 年度 事業 報告

平成 21 年度事業として以下のとおり実施しました。

人材育成事業

- ① 大学院での研修に励む現職教員への奨学金支給
45名（平成20年度奨学生2年次進級分） 1人10万円
34名（平成21年度奨学生） 1人10万円
計790万円を支給
- ② 優秀な大学院生（現職教員以外）への奨学金支給
9名に対し、1人10万円 計90万円を支給
- ② 優秀な学部学生への奨学金支給
30名に対し、1人10万円 計300万円を支給



札幌キャンパス



函館キャンパス



旭川キャンパス



釧路キャンパス



岩見沢キャンパス

基金の収支状況

平成22年3月までのご寄付の状況、支出の状況は次のとおりです。

(単位：円)

収 入		支 出	
個人からの寄付金	22,942,000	人材育成事業（奨学金支給）	33,500,000
法人等からの寄付金	25,335,000	現代的教育課題への研究支援事業	306,188
「どさんこ創生塾」からの寄付金	4,900,000	その他（口座振替手数料）	42,635
		合 計	33,848,823
合 計	53,177,000	寄付金残額	19,328,177

奨学金受給者数

平成19年度

(単位：人)

修 学 校	大 学 院 生		学 部 学 生	計
	現職教員	その他		
札幌校	7		6	13
函館校	3		6	9
旭川校	5		6	11
釧路校	3		6	9
岩見沢校			6	6
計	18		30	48

平成20年度

(単位：人)

修 学 校	大 学 院 生		学 部 学 生	計
	現職教員	その他		
札幌校	32		6	38
函館校	4		6	10
旭川校	15		6	21
釧路校	13		6	19
岩見沢校			6	6
計	64		30	94

平成21年度

(単位：人)

修 学 校	大 学 院 生		学 部 学 生	計
	現職教員	その他		
札幌校	37	5	6	48
函館校	4	1	6	11
旭川校	23	2	6	31
釧路校	15	1	6	22
岩見沢校			6	6
計	79	9	30	118

寄附者の紹介

北海道教育大学教育支援基金は、平成18年12月に創設以来、これまで多くの方々にご協力をいただき、学部学生、大学院生への支援をはじめ、いじめ、不登校などの現代的教育課題に関する研究への支援等を行っております。

ここに、そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、ご同意をいただいている皆様のご芳名をご紹介させていただきます。

また、高額のご寄付をいただきました方には、事務局正面玄関に設置しております、教育支援基金寄付者の銘板にご芳名を掲示させていただきます。皆様には、引き続き本基金にご支援くださいますようお願い申し上げます。

寄附者ご芳名（お申込み順、敬称略）平成22年8月31日現在

※ ご芳名の掲載を希望されない方は、掲載を割愛させていただきます。

（企業、法人、団体等）

財団法人放送大学教育振興会 財団法人日本国際協力センター 株式会社北洋銀行 株式会社札幌銀行 池田煖房工業株式会社 北海道電力株式会社 株式会社三八 上光証券株式会社 手稲ロータリークラブ 札幌ロータリークラブ 大輝印刷株式会社 交洋不動産株式会社 北海電気工事株式会社 株式会社KDS札幌支社 北海道教育大学夕陽会 中山食品工業株式会社 財団法人札幌市中小企業共済センター 株式会社ホクシンラマナプロジェクト 札幌映像プロダクション 株式会社プラスエージェンシー 北幹警備保障株式会社 北海道ビルサービス株式会社 北洋システム開発株式会社 今井金商株式会社 株式会社シズナイロゴス 株式会社昭和総業 ダイコク交通株式会社 ルンベル旭川 札幌商工会議所理事・部長職一同 株式会社みんなのことば舎 株式会社札幌ドーム 富士火災海上保険株式会社 山藤三陽印刷株式会社 株式会社乃村工芸社北海道支店 株式会社札幌第一興産 医療法人社団カレスサッポロLSI札幌クリニック 社団法人北海道未来総合研究所 株式会社クラーク総研 株式会社にしりん 証券会員制法人札幌証券取引所 株式会社きのとや ストレンジャー21 株式会社ヤマシタ 株式会社デジック 株式会社須田製版 札幌商工会議所女性会 札幌商工会議所 株式会社世起 北海道火災共済協同組合 札幌南ロータリークラブ 丸果札幌青果株式会社 株式会社アミノアップ化学 株式会社ピーアールセンター 株式会社モーニング 株式会社プリプレス・センター 株式会社シービーエス札幌営業所 TKデザイン 株式会社エスコムプレーン 東京海上日動火災保険株式会社 行政書士東方事務所 株式会社コナミスポーツ&ライフ アド・フレッシュ有限会社 株式会社東京商工リサーチ北海道支社 有限会社秋田デザインイズム 有限会社エスプリング 株式会社恵和ビジネス 泰和石油株式会社 株式会社桐光クリエイティブ 株式会社テレビ北海道 佐藤印刷株式会社 株式会社ニトリ（ニトリ北海道応援基金） 岩田地崎建設株式会社 旭川ロータリークラブ 株式会社札幌振興公社 エア・ウォーター・サービス株式会社 社団法人札幌観光協会 正文舎印刷株式会社 エア・ウォーター株式会社 北海道教育大学青陵会 株式会社インファーマシーズ 株式会社北海道新聞社 サザエ食品株式会社 北海道旅客鉄道株式会社 社団法人北師教育文化振興会 小樽信用金庫 北海道教育大学鶴陵会 北海道教育大学六稜会 京和商事株式会社 東洲友の会 北海道農業協同組合中央会

(個人)

齊藤 健司	三浦 秀雄	村山 紀昭	佐々木 茂	岡部 三男	高向 巖
今 尚之	前田 眞	谷本 一之	奥野 亮輔	荒島真一郎	藤根 信章
綾部 史夫	野村 公	中谷 弘	岡本 靖正	外崎 與之	大塚 達也
田村 光規	十亀 昭雄	伊藤 千秋	上條 雄也	片岡 寛治	衣川 實
本間 謙二	望月 正男	長谷川 致	東海林明雄	斎藤 孝	瀧波 武
長谷川 工	原田 行造	小原 孜郎	藤本 誠造	小檜山 博	佐藤 孝夫
下元 利之	渡部 英昭	藤波 信成	竹田 勝	伊藤 裕三	吉田 昭穂
祖母井里重子	伊藤 潮	大黒 靜治	鈴木 明彦	中原 勇夫	星野 良
諸橋 輝雄	東 尚巳	伊藤 則博	橋本 美則	新里 光代	堀川 守正
磯脇 和平	安田 侃	川江 実	笹原 義雄	池田 保夫	八町 憲一
玉村喜代治	湊 公夫	石井 久	吉田 弘夫	大塚 哲郎	中田 秀彦
福田 薫	山崎 節雄	松本 禮一	芳賀 卓	吉沼 一	龜畑 義彦
鈴木 正徳	大平 幸紀	関口 裕昭	谷口 賢司	敦賀 徹	弘中健一郎
南谷 誠	山口 栄三	山口 洋志	笹谷 春美	田島 與久	馬場 俊臣
本堂 知彦	水野 政勝	吉原 英夫	瓜生 淳一	大坂 治	長田 友紀
鹿嶋 利幸	佐々木 馨	佐藤 直人	新開谷 央	杉浦 清志	曾我部和明
高木 重俊	高田 康作	竹鼻 洋文	舘脇 武光	出村 克弘	徳永 好治
夏井 邦男	林 義明	福田 翼	藤田 雅史	三澤 壽喜	三橋 功一
吉田 繁延	若松 泰生	海老名 尚	片山 晴夫	佐々木久視	蛇穴 治夫
立花 捨美	宮家 康浩	村田 芳久	山本 光朗	吉田 正生	渡辺 由光
浅井 良之	小松 丈晃	佐々木 巽	清野 隆	皆川 治恵	村瀬 千櫻
高橋 勇輔	太田 晶久	村山 登	岡本 次郎	小黒 貢	海藤 晃弘
久綱 忠夫	瀬川 秀良	上岡 宏	横谷 英次	鈴木 淳一	和田 謙二
山下 克彦	山田 力ヨ	宮腰 秀弘	石尾 直博	植木 克美	後藤 守信
庄井 良信	馬場 俊臣	増淵 哲子	山本 勇一	鏡谷 智靖	遠藤 芳信
大坪 嘉昭	山崎 正吉	玉井 康之	田丸 典彦	青木 英昭	尾関 俊浩
古川 昇	媚山 敏文	新田三智也	長坂 好男	山地 博之	尾崎富美子
奈良 一三	大瀬 紘興	小島 三司	沼田 元一	林 敬二	前岡 和雄
辻井 義昭	勝俣 美治	橘 ヒサ子	スガワラ トオル	野川 潔	富田 勤
浅木 洋祐	河 鍊洙	相馬 一彦	櫻井 兼市	鬼丸 吉弘	五十嵐雅浩
久保 良宏	會澤 義雄	伊藤 功俊	岡崎 由夫	伊藤 隆介	落合 清治
澤出 宗利	橋場美紀雄	宮崎 素	山田 正二	吉見 孝夫	小平 征雄
後藤 嘉也	坂本 紀子	野呂 佳生	藤井 廣美	松浦 俊彦	宮田 省一
山本 道隆	阿部 修	安藤 豊	芝木 邦也	須田 康之	氷見山幸夫
森田 寛	八重樫良二	鎌田 浩子	村上 知子	吉崎 祥司	石山 洋一
今野 孝明	青木 満里	大内 定	大久保和義	神田 房行	奥田 亨
岩船 寛	加藤 俊孝	尾形 猛	横山 充	金子 俊之	青山 敏彦
新保紅実子	蛭田 眞一	眞田 雄三	佐藤 道之	高橋 伸幸	芳根 和子
鎌塚 宗一	阿部 哲夫	吉光寺勝己	久保田浩文	小林 一博	佐藤 毅
花輪 大輔	水上 俊司	村瀬 清史	室山 俊美	森下 智之	東海林耕太郎、
高橋 庸哉	流田 雅己	本庄 康伸	吉村 功	川上 隆幸	平野 雅宣
戸田須惠子	小林 宏明	奈良 盛	臼井 博	大久保康德	大津 和子
川島 利春	佐藤 吉文	菅股 庄二	田中 昌弥	林崎 誠司	上山 恭男
田中 和久	浅川 哲弥	荒岡 良明	内島 貞雄	幸谷 晃	斎藤 祥子

酒井 義信	佐藤 隆	芝木美沙子	南部 正人	古川 宇一	横尾 實
伊藤 俊彦	岡谷 貴志	佐野比呂己	寺山 秀人	芳賀 敦	八木 利夫
三浦 弘	菊嶋 明廣	栗山弥壽男	坂口 勉	清野 きみ	押手 敬
舟越 芳男	鈴木 博	笠井 稔雄	藤井 英嘉	向井 慎一	佐竹 道盛
渡部 俊夫	米谷 元捷	中村 秀子	福井 昌樹	石井 仁	瀬川 良明
穴水 光輝	中西 信行	中村 公子	柴田 敬祥	辻川 智宏	森島 克久
板津 邦夫	寺中 哲二	平 一弘	佐々木義之	横山 裕充	林 政孝
小林 香織	土居 慎也	照井 貴幸	斉藤 敦司	工藤 晋子	濱淵 雅樹
大月さゆり	田崎 博久	中田絵理奈	野田 哲史	大野 孝喜	亀岡 朗子
小野 牧子	山岸 敏彦	西川 昌慶	小林 孝三	福山恵太郎	門脇 正俊
信太 順子	齋藤 光夫	中村 達也	西山 真	佐々木良一	荒田 一志
木塚 雅貴	伊藤 仙一	柿崎 香	道下 正人	眞田 雄三	夏井 春喜
泉 みち子	西木 光	紫藤 正行	和田知賀子	山藤 敬一	佐藤 孝郎
杉本 宏	日森 俊	佛具 克明	成澤 功	今井 國雄	北山 雅士
広井 智紀	前田 賢能	中村 真規	唐神美和子	稲見 卓人	佐藤 仁大
岸田 壮司	佐藤 孝	穴木沢 潔	佐伯 雄司	藤原 正士	長井 伸樹
東方 豊松	黒田 洋示	川野 孝志	佐藤 伸喜	池田 満	秋田 興二
田井 中	吉田 聡子	藤井 実	佐藤 泰光	布施 宣善	矢部 和彦
門脇 隆史	辻 満	大庭 英敏	滝川 幹	高向 善信	稲上 保彦
木村美太郎	岩田 圭剛	齊藤 彰	小笠原 薫	村上 力夫	山上真知子
網 規行	吉田 宏	中田美知子	小泉 信隆	福井 雅英	大内 俊
柏野 吉貞	城後 豊	山口 文章	岡村 聰	嶋崎 一美	戸田 弘二
浅利 祐一	今泉 博	関谷 祐里	阿部 博光	神林 勲	佐々木けいし
和田 恵治	廣畑 圭介	尾崎 文彦	石井 紘子	戸田 浩幸	石井 純二
中山 雅文	野村 潤	小林 禎三	守田由美子	伊藤 美紀	小川 東洲
小川 邦彦	奥田 知靖	前田 克彦	佐藤 昌彦	瀬山 幸二	戸田 安彦
鎌田 力	森下 憲次	相馬 秋夫	冨樫 繁樹	安部 愛子	大川 哲也
橋本 昭夫	竹見 吉弘	松岡 和久	早川 正	白敷 進	伊藤 仁
北明 敏之	前田 正廣	可児まゆみ	上村 好美	寺井 伸	林 吉明
成田 明					

奨 学 金 授 与 者 か ら

— 奨学金を授与されて —

【学部学生】

○札幌校 教員養成課程 3年 石川 知 実

この度は奨学金を授与していただき、誠にありがとうございました。奨学金のお話を聞いたときには大変驚きましたが、やはりとても嬉しかったです。大学生活にも慣れ、ときには自分の目標を見失いそうになることもありましたが、皆様から奨学金を授与していただいたことで、改めて気を引きしめ直すことができました。私は教員を目指しています。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れずに、日々精進していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

○札幌校 教員養成課程 4年 黒川 桃子

この度は北海道教育大学教育支援基金より奨学金を授与していただき、ありがとうございました。母子家庭であり金銭面に不安があった私ですが、奨学金により参考書類も気兼ねなく購入することができました。本当にありがとうございます。

また今回のことで、ご支援への感謝の念とともに、自分の今までの努力が認められたことへの大きな喜びを感じることができました。この喜びを糧として、これからもより一層と勉学に励んでいきたいと考えています。

○函館校 人間地域科学課程 3年 川村 翔栄

北海道教育大学教育支援基金からの奨学金をこの度頂くことになり、言葉にならないほどの感謝の気持ちです。ご寄付頂いた方々、支援事業の関係者の方々、そして私の周りのいつも支えになってくれているたくさんの方々にこの場を借りて深く御礼を申し上げます。

私は幼少時代から目標を決めたら突っ走っていく人間でしたが、自分の中に自信というものがありませんでした。しかし、この度、このような形で評価してくださり、今まで全力でやってきてよかったなと心にも栄養を頂きました。今後とも教師になるために、函館校環境科学専攻で仲間とともに日々一層精進していくことを誓います。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

○函館校 人間地域科学課程 4年 小坂 麻綾

寄付して下さった方々について、私はほとんど知りません。団体名や個人名を見ても、「どこか遠くにいる誰かが寄付してくれたらしい」と、ぼんやり考えるばかりです。知らない誰かのおかげで安心して学ぶことができる。そう思うと、なんだか不思議な気持ちになります。ですが、こうしたたくさんのご縁とご厚意に支えられてきたからこそ、今の私があるのだとも思います。

入学したての頃は、金銭的な理由から通い続けられるだろうかと心配でしたが、気付けばあっという間に4年が過ぎていました。目に見えない「つながり」を大切にしていけば、自然と良い方へ、明るい方へと道は開けていくのかもしれないと感じました。貴重な「つながり」に恵まれたことを、とても嬉しく思っています。

教育に関心を持ち、奨学金を通して支援して下さる皆様に心から感謝いたします。大学生活も残りわずかとなり、寂しさを感じつつも、卒業へ向けて気を引き締めていかなければと思っていきます。これからも学ぶ楽しさを噛みしめながら、より一層勉学に励んでいきます。本当にありがとうございました。

○旭川校 教員養成課程 4年 崎山 光

この度は北海道教育大学教育支援基金にご寄付をいただき、誠にありがとうございました。奨学金の授与のお話を頂いたときは、正直驚きを隠せませんでした。しかし、このような形で評価されたことは大変光栄なことであり、今後、より一層の努力をしていかなければならないと身の引き締まる思いです。ご支援くださる皆様への感謝の気持ちを忘れずに今後とも精進していきたいと思えます。今後とも、温かいご支援、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

○釧路校 教育教員養成課程 3年 浅見 由比

この度は、北海道教育大学教育支援基金の奨学金を授与していただき、誠にありがとうございました。自分が今できることをと、様々な活動に取り組んできたことを、このような形で評価していただき、大変うれしく思います。これからも、支えてくださる多くの皆様への感謝を忘れず、自分をより高めていけるよう今まで以上に努力をし、様々なことを学び続けたいと思えます。今

後とも温かいご支援とご指導のほど、よろしく願いいたします。

○釧路校 教員養成課程 4年 東 谷 美 優

前年度に引き続いて、今年度においても奨学金を授与させていただき、誠にありがとうございます。この気持ちをありふれた言葉でしか表現できない自分の文才が口惜しい限りです。一度目の授与から早2年。現在は研究室に所属し、大学に入ってから興味を持った環境教育について研究しています。皆様からの目に見えるご支援と目に見えないご支援を胸に、やがては、北海道に根付いた環境教育を創造・実践できるよう、今後とも精進していきます。

○岩見沢校 芸術課程 3年 星 澤 加 奈

この度は北海道教育大学教育支援基金より奨学金をいただき、誠にありがとうございます。お話をいただいた時は教育支援基金の存在を全く知らなかったのが大変驚いたと同時に、自分の勉学を評価していただいたことを大変嬉しく思いました。残り1年半という短い大学生活ではありますが、今まで勉強してきたことを基盤として、今後はより研究を深めていけるよう精進していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

○岩見沢校 芸術課程 4年 中 村 悠 子

ただただ多くのことを学ぼうと受けられるだけの授業を受けていた私に、奨学金授与の話がきた時は本当に驚きました。非常にうれしく思うと同時に、何事にもひたむきに学び取り組めば、何かいいことがあると、そう実感する奨学金授与でした。そしてこの奨学金授与は、勉学を続けていく上で、大きな支えとなり、さらなる学びへの意欲ともなりました。寄付をいただいた皆様になんらかの形で返していけるよう、今後もこれまで以上に勉学に励みたいと思えます。

最後に、ご寄付いただいた皆様に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

【大学院生（現職教員）】

○教科教育専攻（札幌・岩見沢校）石狩管内高等学校教員 池 田 有 香

この度は、北海道教育大学教育支援基金の奨学金をいただき大変有難く思っております。大学を卒業後、15年以上教員として高校で勤務をしておりましたが、日々の授業実践を行うなかで改めて研究したいと思うことがあり、現職教員として長期履修制度を利用して大学院への進学を希望いたしました。職場の理解も得られ、長期休業中を中心に研修し、苦勞しながらもすぐに授業で役立てられることも多く、大学院で学べるようになり充実した日々を送っておりました。

教育支援基金のことはあまり理解していなかったため、連絡をいただいたときは驚きましたが、この奨学金の意味を知り、ご寄付いただいた方や支援事業の関係者の方々には大変感謝しております。今後も研究に励み、教育活動に生かしていけるよう努力していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

○学校臨床心理専攻（札幌・岩見沢校）養護教諭 問 谷 香 織

この度は、北海道教育大学教育支援基金の奨学金を授与して頂き、ありがとうございました。ご寄付頂いた方々、支援事業の関係の方々には厚くお礼申し上げます。勉学への大きな励みになりました。大学院での学びを子ども達に還元できるよう、全力を尽くしたいと思います。今後とも温かいご支援、ご指導のほどよろしく願い申し上げます。

○教科教育専攻(函館校) 厚沢部町立館中学校勤務 桜庭 一宏

この度は、教育支援基金を授与していただきありがとうございました。2年目を迎えた大学院も研究室の中村先生をはじめ、後輩のみんな、そして職場の同僚や家族に支えられて何とかここまでやってこれることができました。教職に就いて十年余り、これまでの実践を省み、ここで学んだことを少しでも多く職場や子ども達に環流できるように、そして感謝の気持ちを忘れずにこれからも精進して行きたいと考えております。今回は本当にありがとうございました。

○学校臨床心理専攻(函館校) 佐藤 ひろこ

この度は、奨学金を授与していただき機会をいただき感謝いたします。社会人である自分が大学院で学ぶ機会を得た事を幸いと思っておりましたが、さらに、それを応援して下さる方々がたくさんいらっしゃるということを、こうしてご寄付をいただくことで実感させていただきました。ありがとうございます。このご好意に報いるためにも、教育現場にとって価値ある学びを得られるよう、一層励まなければと意を強くしたところです。

○教科教育専攻(旭川校) 留萌市立留萌中学校勤務 菅沼 純治

この度は、奨学金を授与させていただき、誠にありがとうございました。教職生活も十二年目となりましたが、さらに授業力を高めようと志をもち大学院への進学を叶えました。昨年度は、研究に専念できる充実した時間を過ごせました。そして、今年の四月から現場に復帰し、研究の成果を試すべく、日々の実践から成果と課題を見出し修士論文にまとめているところです。今回の授与を一層の励みとし、多くの方への感謝を忘れず、明日を支える北海道の子どもたちのために尽力していきます。本当にありがとうございました。

○高度教職実践専攻(旭川校) 旭川市立北光小学校勤務 大久保 雅恵

この度は奨学金を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。現職院生にとって働きながら学ぶことは想像以上に厳しいですが、奨学金を頂いたことが大きな励みになっています。講義を聞くだけでなく、紹介された文献等で理解を深め研究を推進することが肝要だと思っておりますが、頂いた奨学金は、文献の購入や各研究大会への参加等にに使わせて頂いております。今後も奨学金を授与された者として、その名に恥じぬよう精一杯勉学に励み、成果を現場での教育に生かして参りたいと思います。

○高度教職実践専攻(旭川校) 旭川市立啓北中学校勤務 加藤 信彦

学問に「遅すぎる」ことはないのですが、教員として挑みの生活を送る中で、45歳を過ぎてから「学校心理士」を志し、大学院進学を模索しました。しかし、現実には多忙な職場、年齢から求められる責任、5人の家族をかかえる状況で、あきらめざるを得ない現状がありました。丁度そのころ、校長から突然、教職大学院への進学を勧められ、驚きました。現職としての不安はありましたが、私は大学院進学を決意しました。この度の北海道教育大学教育支援基金の授与は、私ども現職にとっては、まさに勇気と希望です。大学院での研究は「自分との闘い」ですが、大学院での成果を必ず現場に役立てたいと思います。本当にありがとうございました。

○教科教育専攻(釧路校) 釧路市立美原中学校勤務 長谷川 綾

学校での勤務を継続しつつ、大学院で日々学ばせていただいている私にとりまして、このたびの奨学金支給は、大きな励みとなりました。それとともに、現今の大変な社会情勢の中、この教育支援基金の趣旨に賛同された、団体・個人の皆様は、教育に携わる者への大きな期待を込めら

れてご寄付を寄せられたことと、身の引き締まる思いがいたします。ご支援をいただいで日々の学びを、少しでも学校での子供たちへの教育の中に生かしていけるよう、今後も努力していきたいと思ひます。

【大学院生（現職教員以外）】

○学校臨床心理専攻(釧路校) 福祉施設勤務 前山 尚子

現在、福祉施設のクリニックに勤務しています。奨学金を頂けてますます頑張ろうと思えたことが現在の私に繋がっているのかなと、この文を書きながらあらためて感じています。

念願の仕事に就くことができ、日々張り切つて勤務しております。引き続き努力していくことが皆さまのご厚意にお答えすることだと思ひています。

感謝の気持ちをお伝えする機会を与えて頂きありがとうございました。

ご 連 絡

◆ 寄付者のお名前の掲載

ご寄付をいただいた方々のご協力に感謝し、本学のホームページにご芳名を掲載させていただきます。

※ご芳名の掲載を希望されない方は、その旨ご連絡下さいますようお願いいたします。

なお、ご寄付をいただいた際に大学広報誌へのご芳名の掲載を希望されなかった方については、本学のホームページへの掲載はいたしません。

◆ 寄付者銘板

団体10万円以上、個人5万円以上のご寄付をいただいた方々のご芳名を、「北海道教育大学教育支援基金寄付者銘板」に刻み、末永く顕彰させていただきます。

※ご芳名の掲載を希望されない方は、その旨ご連絡下さいますようお願いいたします。

なお、ご寄付をいただいた際に大学広報誌へのご芳名の掲載を希望されなかった方については、「寄附者銘板」への掲載はいたしません。

【問い合わせ先】

北海道教育大学教育支援基金事業実施部

〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

北海道教育大学総務部総務課

教育支援基金事務室

TEL:011-778-0206 FAX:011-778-0631

E-mail:kikin@sap.hokkyodai.ac.jp

http://www.hokkyodai.ac.jp/